令和３年度学校だより

五福校 ごふくこう

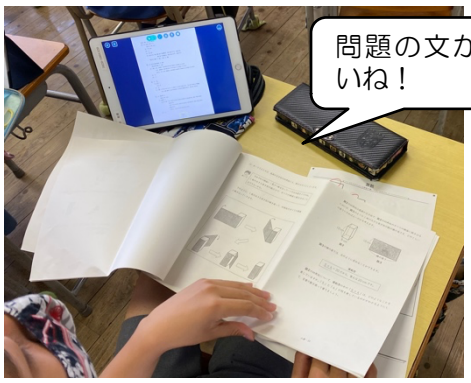
５月２１日

No26

文責　本田

全国学力学習状況調査から見えるもの

今日６年生は来週２７日（木）に実施される全国学力学習状況調査の過去問に取り組んでいます。全国学力・学習状況調査の問題については「全国学力」で検索すると国立教育政策研究所のページが開き過去問が載っていますのでご覧ください。この問題を見るとなぜ現在タブレットを使って子どもたちに自分の考えをＯＵＴＰＵＴして、自分の言葉で説明できるようにしているかが理解いただけると思います。現在、入試問題も大きく変わってきています。昔のような単純に暗記したこと書くような問題は無くなってきています。今はＰＩＳＡ型読解力といって、文章（テキスト）だけでなく、表やグラフ、写真など複数の資料から必要な情報を読み取って答えを導いていく問題や様々な考え方を説明する問題などが主流となっています。だからこそ今、教師が一方的に教え込む授業から子どもが学ぶ授業に転換しているのです。このような力はすぐに身につくものではありません。低学年の段階から積み上げていくことが大切です。就職試験も自分で動画を作成して出させるようなやり方などその内容も多様化してきています。小学校ではしっかりその基礎となる力を身につけさせていきます。６年生はぜひ過去問を見てみてください。どんなことを求められているのかがわかると思います。もちろん、５年生以下の人もみてもらうとどんな学習をしなければならないかが見えてくると思います。



令和元年度の問題です　授業でも似たようなことしていますね！

(3) ゆうたさんたちは，２つの合同な台形でつくられた**図１**の形の面積を求めようとしています。

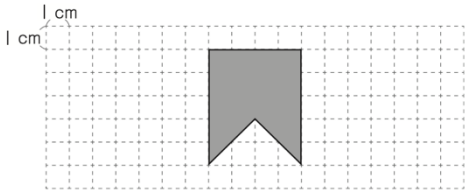


図１

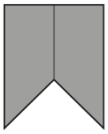
ゆうたさんは，**図１**の形の面積を，次のように求めました。

【ゆうたさんの求め方】

（３＋５）×２÷２＝８
８×２＝１６　　答え １６cm²

ゆうた

図１の形を，下の図のように，合同な台形２つとみました。



まさるさんは，**【ゆうたさんの求め方】**の中の「８×２」が，どのようなことを表しているのかを，下のように説明しました。

まさる

８は，１つの台形の面積を表しています。
８×２は，１つの台形の面積を２倍していることを表しています。

図 1 の形の面積は，16 cm² であることがわかりました。

ちひろ

私は，ほかの求め方を考えました。

【ちひろさんの求め方】

5 × 4 = 20
4 × 2 ÷ 2 = 4
20 − 4 = 16　　答え 16 cm²

【ちひろさんの求め方】の中の「20 − 4」は，どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかがわかるようにして，言葉や数を使って書きましょう。

※　必要ならば，下の**図 1** を使って考えてもかまいません。

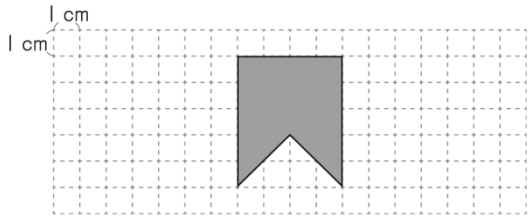
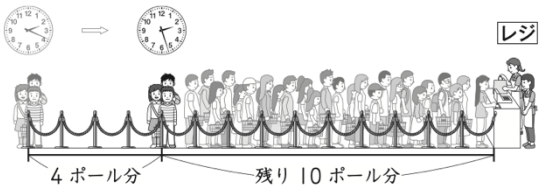


図 1

(3)　はるとさんたちは，限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので，午後 3 時までにはレジに着きたいと考えています。

列に並ぶと，レジまでは 14 ポール分ありました。ポールとポールの間の長さはどこも同じです。

はるとさんたちが並んでから，4 ポール分進むのに 8 分間かかり，残り 10 ポール分になりました。午後 3 時までは，残り 33 分間です。そこで，33 分間以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。

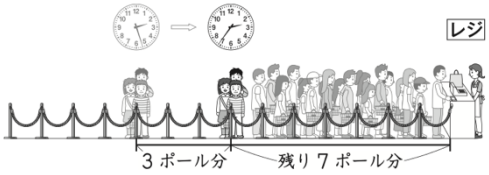


はると

4 ポール分進むのに 8 分間かかったことから，残り 10 ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。
8 ÷ 4 = 2 で，1 ポール分には 2 分間かかります。
残り 10 ポール分なので，2 × 10 = 20 で，20 分間かかります。
だから，33 分間以内にレジに着くことができます。

ところが，レジにいる店員さんが減ってしまいました。それからは，3 ポール分進むのに 9 分間かかり，残り 7 ポール分になりました。午後 3 時までは，残り 24 分間です。

そこで，はるとさんたちは，24 分間以内にレジに着くことができるかどうかを，もう一度考えてみました。



あかり

3 ポール分進むのに 9 分間かかったことから，残り 7 ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。

3 ポール分進むのに 9 分間かかる進みぐあいで進むとすると，残り 7 ポール分進むのにかかる時間は何分間ですか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また，答えも書きましょう。

さらに，24 分間以内にレジに着くことができるかどうかを，下の **1** と **2** から選んで，その番号を書きましょう。

1　着くことができる。

2　着くことができない。

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することにしました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いている**【報告する文章】**です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

公衆電話について

高橋　めぐみ

1　はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あったはずの公衆電話がなくなっていて、こまってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思い、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが**〈資料1〉**です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。

そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったのかどうか調べてみることにしました。

2　調査の内容と結果

（1）公衆電話はどのようなときに必要なのか

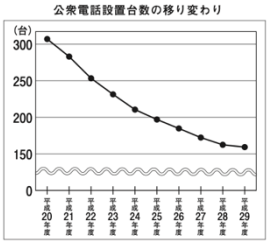
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。

そこで、地いきの人三十人を調査のアたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが**〈資料2〉**です。「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。

このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

〈資料1〉

公衆電話設置台数の移り変わり



〈資料2〉

公衆電話が必要な理由のまとめ（複数回答）

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか

公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や特ちょうがありました。

・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができる。

・停電のときでも、硬貨を使って通話をすることができる。

・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

（3）公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが**〈資料3〉**です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

3

調査の結果をもとに考えたこと

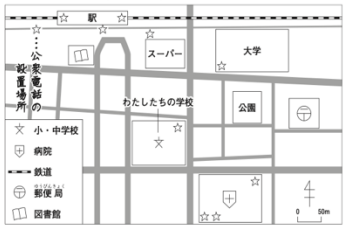
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったわけではないと考えました。なぜなら、［　　］

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかということも考えました。

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

〈資料3〉

公衆電話の設置場所を示した地図



一　高橋さんは、**【報告する文章】**で**〈資料2〉**と**〈資料3〉**を、それぞれどのような目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**5**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
2　内容ごとに分類して示し、大まかな特ちょうを伝えるため。
3　年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
4　記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
5　説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

〈資料2〉……［　　］　**〈資料3〉**……［　　］

※解答は、解答用紙に書きましょう。

二　高橋さんは、「**（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか**」の中で、公衆電話の使い方や特ちょうについて、くふうして書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　情報を整理して伝えるために、ことがらを分けて並べて書いている。
2　自分の考えを強調するために、同じ言葉をくり返して書いている。
3　自分の考えのもととなる事実を示すために、図や表を用いて書いている。
4　相手の理解を助けるために、使い方の手順に従って書いている。

三　高橋さんは、「**3　調査の結果をもとに考えたこと**」の［　　］に「**2　調査の内容と結果**」の**（1）**と**（2）**で分かったことをまとめて書いています。［　　］に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○「**2　調査の内容と結果**」の**（1）**と**（2）**の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
○**【報告する文章】**にふさわしい表現で書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったわけではないと考えました。

なぜなら、◆

40字　70字